

レジリエント部門

応募事例名

市民との情報共有化(浸水対策事業) ～雨水対策事業マップ～

応募団体名)兵庫県西宮市上下水道局下水道部

応募事例の概要

浸水対策事業の情報共有化 ～雨水対策事業マップ～

近年、浸水や土砂災害による被害が全国的にも増加傾向にある中、西宮市においても、同様の被害が発生しています。そのような災害から市民の皆様
の命や財産を守るため、市では様々な事業に取り
組んでまいりました。しかしながら、多額の税金を
投入したにもかかわらず、市民からは、「どのよう
な対策事業をどこで実施したのか」、「効果があつ
たのか」といった問合せを数多く頂いております。
そこで、浸水被害が発生した後に施設整備を行っ
た箇所を图示し、整備前後で被害が軽減したこと
がわかる効果を表現したマップを作成しました。
マップは、平成28年度よりホームページや支所など
で公開しています。

雨水対策事業マップを市長も活用

このマップを市民の皆さんに活用していただくこと
について、市長が各地域に出向き、浸水対策につ
いて下水道の実績をPRしています。

対策効果の実感

市民からの浸水対策に関する問い合わせが増え
ました。内容としては、「自分たちの住んでいる所
は大丈夫ですか。」「もっと効果的に浸水対策事業
をすすめるべき」など、浸水対策について積極的
な、ご意見をいただくことができました。また、施設
の運用状況などについて事業実施後も、地元と情
報共有を図っています。

平成29年3月更新

(15)瓦木排水区 雨水対策事業マップ



※本排水区には別途、民間開発により設置された貯留施設(2件、総貯留容量198m3)があります。

■PRポイント

- ・浸水履歴のある地区から重点的に整備を進めてきたこと、管渠をはじめ、雨水貯留管など流出抑制対策による効果的な整備手法を導入したこと、また、計画降雨を超える雨、いわゆる超過降雨対策としてオンサイト貯留施設を並行して整備するなどの浸水対策事業の効果や、それらの事業を実施するためには多額の費用を必要とすることについて、PRが行えました。
- ・マップには、オンサイトやオフサイトの機能を分かり易く説明するとともに、排水区の特徴を記述し、市民の皆さんがお住まいの地域の状況を分かり易く伝えるとともに、市が過去に浸水対策を行った箇所や過去の浸水情報を知るとともに、個人・地域の避難の在り方や備えになどにも活用できるマップとしました。このマップを用いて市長自らも各地域に出向き、下水道事業の実績をPRしています。



浸水対策用雨水貯留幹線

■具体的効果について

- 浸水対策他の効果で、「西宮市」は住みたい街ランキング5年連続 第1位(H29年民間調査)
- 浸水対策に対する要望が第1位(市民全体の39.6%:H28市民意識調査)
- 浸水常習地域の市民と対策事業についての情報共有化が図れた。(西宮市能登町)
- 雨水対策事業マップ関連への市ホームページアクセス数(H28年度:17,172件/年)
- 市長の公聴会の開催回数実績(平成28年度(春):20回)